

令和8年4月1日

生物理工学部 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミSSION・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミSSION・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

| No. | 名称 | 対象 | 時期・頻度 | 学年 | 主な質問項目、内容等 | 実施責任部署 | 結果の活用方法 |
|-----|----------------------|-------------------|-------|------|-------------------------|--------|--|
| 1 | 卒業アンケート（全国学生調査の最終年次） | DPI ～4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度 | 学生センター | IR・教育支援センターが教学運営会議に報告し、各学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 2 | 卒業生の進路状況 | DP 1 ～ 4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率） | 就職情報室 | キャリアセンターが各学部等に報告し、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |

| | | | | | | | |
|----|----------------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|--|-------------|--|
| 3 | 卒業生調査 | DP 1 ~ 4 | 毎年 1 回 | 卒業後 1 年 以上経過の 卒業生 | 現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望 | 学生センター | IR・教育支援センターが各学部等並びに教学運営会議に報告し、各学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 4 | 就職先アンケート | DP 1 ~ 4 | 毎年 1 回 | 卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業 | 在籍する卒業生の活躍から、近畿大学の DP 達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取 | 学生センター | IR・教育支援センターが各学部等並びに教学運営会議に報告し、各学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 5 | 学修振り返りアンケート | CP | 毎学期 1 回 | 全学年 | 学修行動、授業の理解度、学修到達目標達成度 | 自己点検評価委員会 | 各学部が自学部実施分の結果を集計し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用。IR・教育支援センターが全学部分の結果をとりまとめ |
| 6 | 成績不振学生、休退学の調査 | CP | 毎学期 1 回(成績不振)、随時(休退学) | 全学年 | 学業不振の状況(GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数 | 学生委員会 | 各学部が自学部学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 7 | 全国学生調査(2年次) | CP | 未定 | 2年生 | 学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象 | 学生センター | IR・教育支援センターが各学部等並びに教学運営会議に報告し、各学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 8 | GPS-Academic(3年次を基本) | CP | 毎年 1 回 | 原則 3 年生 | 学修行動、授業・カリキュラム満足度 | 学生センター | IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者が各学部等に報告し、全学的なキャリア支援、各学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 9 | 学生生活実態調査 | CP | 隔年 9~10月頃 | 全学年 | 学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価 | 学生センター | 学生部が IR・教育支援センターに報告し、各学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開 |
| 10 | 入学試験 | API ~3 | 毎年 | 入学志願者 | 大学での学修に必要な基礎学力 | 入学センター | 入学センターが大学協議会や各学部等に報告し、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用 |
| 11 | GPS-Academic(1年次) | API ~3 | 毎年 4 月 | 1 年生 | 本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路 | 学生センター | IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者が各学部等に報告し、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 12 | 英語プレイスメントテスト | API ~3 | 毎年 4 月 | 1 年生 | TOEIC Bridge テスト | 共通教養・基礎教育部門 | 各学部が入学時点の英語の習熟度を把握し、習熟度別語学教育のクラス分けに活用 |
| 13 | 数学プレイスメントテスト | API ~3 | 毎年 4 月 | 1 年生 | 高校数学の確認テスト | 基礎教育センター | 各学科が入学時点の数学の習熟度を把握し、習熟度別のクラス分けに活用 |
| 14 | 物理プレイス | API | 毎年 4 月 | 1 年生 | 高校物理の確認テスト | 基礎教育 | 各学科が入学時点の物理の習熟度を把握し、習熟度 |

| | | | | | | |
|--|--------|----|--|----------------------|------|------------|
| | メントテスト | ~3 | | (生物、遺伝子、食品安全を 除く) | センター | 別のクラス分けに活用 |
|--|--------|----|--|----------------------|------|------------|

以 上

令和8年4月1日

生物理工学部 生物工学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

| No. | 名称 | 対象 | 時期・頻度 | 学年 | 主な質問項目、内容等 | 実施責任部署 | 結果の活用方法 |
|-----|----------------------|-------------------|-------|------|-------------------------|--------|---|
| 1 | 卒業論文・卒業研究等ルーブリック | DPI ~4 | 毎年度末等 | 卒業学年 | 卒業論文・卒業研究等の学修成果 | 生物工学科 | 個々の教員が評価を行い、結果を学科で集約し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 2 | 卒業アンケート（全国学生調査の最終年次） | DPI ~4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度 | 学生センター | IR・教育支援センターの報告を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 3 | 卒業生の進路状況 | DP 1 ~ 4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率） | 就職情報室 | キャリアセンターの報告を、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |

| | | | | | | | |
|----|------------------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|--|-----------|---|
| 4 | 卒業生調査 | DP 1 ~ 4 | 毎年 1 回 | 卒業後 1 年 以上経過の 卒業生 | 現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望 | 学生センター | IR・教育支援センターの報告を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 5 | 就職先アンケート | DP 1 ~ 4 | 毎年 1 回 | 卒業生就職先 ※数名の採用実績がある企業 | 在籍する卒業生の活躍から、近畿大学の DP 達成度や強み・弱みなどをアンケート聴取 | 学生センター | IR・教育支援センターが各学部等並びに教学運営会議に報告し、各学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 6 | 学修振り返りアンケート | CP | 每学期 1 回 | 全学年 | 学修行動、授業の理解度、満足度 | 自己点検評価委員会 | 集計結果を、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用。 |
| 7 | 成績不振学生、休退学の調査 | CP | 每学期 1 回(成績不振)、随時(休退学) | 全学年 | 学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数 | 学生委員会 | 要対応学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 8 | 全国学生調査 (2 年次) | CP | 毎年 1 回 | 2 年生 | 学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象 | 学生センター | IR・教育支援センターの報告を、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 9 | GPS-Academic (3 年次を基本) | CP | 毎年 1 回 | 原則 3 年生 | 学修行動、授業・カリキュラム満足度 | 学生センター | IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者の報告を、キャリア支援、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 10 | 学生生活実態調査 | CP | 隔年 9~10 月頃 | 全学年 | 学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価 | 学生センター | 学生部の報告を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開 |
| 11 | 入学試験 | API ~ 3 | 毎年 | 入学志願者 | 大学での学修に必要な基礎学力 | 入学センター | 入学センターの報告を、入学者の現状把握に活用 |
| 12 | GPS-Academic (1 年次) | API ~ 3 | 毎年 4 月 | 1 年生 | 本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路 | 学生センター | IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者の報告を、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用 |

以上

令和8年4月1日

生物理工学部 食品安全工学科 アセスメントプラン
(令和9年度以降 食品・生命科学科に変更予定)

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

| No. | 名称 | 対象 | 時期・頻度 | 学年 | 主な質問項目、内容等 | 実施責任部署 | 結果の活用方法 |
|-----|------------------|-------|---------|------|------------------|-----------|--|
| 1 | 卒業論文・卒業研究等ルーブリック | DP2～3 | 毎年度末 | 卒業学年 | 卒業論文・卒業研究等の学修成果 | 食品安全工学科 | 個々の教員が評価を行い、結果を学科で集約し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 2 | 卒業生の進路状況 | DPI～4 | 随時 | 卒業学年 | 卒業生の進路（就職、進学） | 食品安全工学科 | 個々の教員が学生から聞き取り調査を実施し、学科会議で情報を共有し学生指導の改善に活用 |
| 3 | HACCP管理者資格取得調査 | DPI～4 | 毎年6月12月 | 4年生 | HACCP管理者の取得状況 | 食品安全工学科 | 食品安全工学科がHACCP管理者の取得状況により、情報公開に活用 |
| 4 | 食品衛生指導員活動調査 | DPI～4 | 随時 | 4年生 | 食品衛生指導員活動実績 | 食品安全工学科 | 食品安全工学科が食品衛生指導員としての活動状況の把握により、県の食品衛生協会との連携、情報公開に活用 |
| 5 | 学修振り返りアンケート | CP | 毎学期1回 | 全学年 | 学修行動、授業の理解度、満足度 | 自己点検評価委員会 | 学部で集計した結果を学科で共有し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用。 |
| 6 | 成績不振学生、休退学の | CP | 随時 | 全学年 | 学業不振の状況、休学・退学の原因 | 食品安全工学科 | 個々の教員が指導対象となる学生と面談し、学科会議で情報を共有することにより、学修支援やカリキ |

| | 調査 | | | | | | ユラム改善に活用 |
|---|-----------------------|-----------|------|-------|---------------------------------|--------|---|
| 7 | 入学試験 | API～ 3 | 毎年 | 入学志願者 | 大学での学修に必要な基礎学力 | 入学センター | 入学センターからの報告を学科内で検討し、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用 |
| 8 | GPS-Academic (1年次) | API～ 3 | 毎年4月 | 1年生 | 本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路 | 学生センター | IR・教育支援センターからの報告を学科内で検討し、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価に活用 |

以上

令和8年4月1日

生物理工学部 遺伝子工学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができると思っているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

| No. | 名称 | 対象 | 時期・頻度 | 学年 | 主な質問項目、内容等 | 実施責任部署 | 結果の活用方法 |
|-----|----------------------|-------|-------|------|-------------------------|--------|--|
| 1 | 卒業論文・卒業研究等ルーブリック | DP2～3 | 毎年度末等 | 卒業学年 | 卒業論文・卒業研究等の学修成果 | 遺伝子工学科 | 個々の教員が評価を行い、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 2 | 卒業アンケート（全国学生調査の最終年次） | DPI～4 | 毎年度末等 | 卒業学年 | 学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度 | 遺伝子工学科 | 学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 3 | 卒業生の進路状況 | DPI～4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率） | 遺伝子工学科 | キャリアセンターの情報をもとに、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |

| | | | | | | | |
|----|------------------------|-------------------|----------------|-------------------------|--|-------------------|---|
| 4 | 卒業生調査 | DP 1 ~ 4 | 毎年 1 回 | 卒業後 1 年 以上経過の 卒業生 | 現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望 | 遺伝子工 学科 | 各教員から情報をもとにカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 5 | 学修振り返り アンケート | CP | 毎学期 1 回 | 全学年 | 学修行動、授業の理解度、満足度 | 自己点検 評価委員 会 | 学部で集計した結果を、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 6 | 成績不振学生、休退学の調査 | CP | 随時 | 全学年 | 学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数 | 遺伝子工 学科 | 学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自 学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 7 | GPS-Academic (3 年次) | CP | 毎年 1 回 | 3 年生 | 学修行動、授業・カリキュラム満足度 | 学生セン ター | IR・教育支援センターからの報告を、全学的なキャリア支援、各学部の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 8 | 学生生活実態 調査 | CP | 隔年 9~ 10 月頃 | 全学年 | 学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価 | 学生セン ター | IR・教育支援センターからの報告を、各学部のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開 |
| 10 | 入学試験 | API ~3 | 毎年 | 入学志願者 | 大学での学修に必要な基礎学力 | 入学セン ター | 入学センターからの情報をもとに、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用 |
| 11 | GPS-Academic (1 年次) | API ~3 | 毎年 4 月 | 1 年生 | 本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路 | 学生セン ター | IR・教育支援センターからの情報をもとに、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用 |

以 上

令和8年4月1日

生物理工学部 生命情報工学科 アセスメントプラン
(令和9年度以降 情報学科に変更予定)

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

| No. | 名称 | 対象 | 時期・頻度 | 学年 | 主な質問項目、内容等 | 実施責任部署 | 結果の活用方法 |
|-----|----------------------|-------------------|-------|------|-------------------------|---------|--|
| 1 | 卒業論文・卒業研究等ルーブリック | DPI ~2 | 毎年度末等 | 卒業学年 | 卒業論文・卒業研究等の学修成果 | 生命情報工学科 | グループ毎に個々の教員が評価を行い、結果を学科で集約し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 2 | 卒業アンケート（全国学生調査の最終年次） | DPI ~4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度 | 学生センター | IR・教育支援センターからの報告を利用し、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 3 | 卒業生の進路状況 | DP 1 ~ 4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率） | 生命情報工学科 | 個々の教員による調査結果をキャリアセンターに集約し、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |

| | | | | | | | |
|----|---------------------------|-------------------|----------------------------------|-------------------------|--|-------------------|--|
| 4 | 卒業生調査 | DP 1 ~ 4 | 毎年 1 回 | 卒業後 1 年 以上経過の 卒業生 | 現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望 | 生命情報 工学科 | IR・教育支援センターからの報告を利用し、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 5 | 学修振り返り アンケート | CP | 每学期 1 回 | 全学年 | 学修行動、授業の理解度、満足度 | 自己点検 評価委員 会 | 自己点検評価委員会が取りまとめた集計結果を参照し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 6 | 成績不振学生、 休退学の調査 | CP | 每学期 1 回(成績不振)、 随時 (休退学) | 全学年 | 学業不振の状況 (GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数 | 生命情報 工学科 | 対応が必要な学生に対して面談を実施し、学修及び学修支援、学科のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 7 | 全国学生調査 (2 年次) | CP | 毎年 1 回 | 2 年生 | 学修経験、学修行動、習得した能力、大学の印象 | 学生セン ター | IR・教育支援センターからの報告を利用し、学科の授業方法やカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 8 | GPS-Academic (3 年次を基本) | CP | 毎年 1 回 | 原則 3 年 生 | 学修行動、授業・カリキュラム満足度 | 学生セン ター | IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者からの報告を利用し、学科におけるキャリア支援、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 9 | 学生生活実態 調査 | CP | 隔年 9~ 10 月頃 | 全学年 | 学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価 | 学生セン ター | 学生部からの報告を利用し、学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開 |
| 10 | 入学試験 | API ~3 | 毎年 | 入学志願者 | 大学での学修に必要な基礎学力 | 入学セン ター | 入学センターの報告から、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用 |
| 11 | GPS-Academic (1 年次) | API ~3 | 毎年 4 月 | 1 年生 | 本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路 | 学生セン ター | IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者からの報告を利用し、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用 |

以 上

令和8年4月1日

生物理工学部 人間環境デザイン工学科 アセスメントプラン
(令和9年度以降 建築・人間工学科に変更予定)

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミッション・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

| No. | 名称 | 対象 | 時期・頻度 | 学年 | 主な質問項目、内容等 | 実施責任部署 | 結果の活用方法 |
|-----|----------------------|-------------------|-------|------|-------------------------|-------------|--|
| 1 | 卒業論文・卒業研究等ルーブリック | DPI ~2 | 毎年度末等 | 卒業学年 | 卒業論文・卒業研究等の学修成果 | 人間環境デザイン工学科 | 個々の教員が評価を行い、結果を学科で集約し、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 2 | 卒業アンケート（全国学生調査の最終年次） | DPI ~4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度 | 人間環境デザイン工学科 | 学生センターの情報をもとに、学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 3 | 卒業生の進路状況 | DP 1 ~ 4 | 随時 | 卒業学年 | 卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率） | 人間環境デザイン工学科 | 就職情報室の情報をもとに、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |

| | | | | | | | |
|---|---------------------|-----------|---------|-------|--|---------------------|--|
| 4 | 学修振り返りアンケート | CP | 毎学期 1 回 | 全学年 | 学修行動、授業の理解度、満足度 | 自己点検 評価委員会 | 学部の情報をもとに、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 5 | 成績不振学生、休退学の調査 | CP | 随時 | 全学年 | 学業不振の状況、休学・退学の原因 | 人間環境 デザイン 工学科 | 学部の情報をもとに、個々の教員が対象学生に面談を実施し、学科で情報共有して、修学及び学修支援、カリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 6 | 入学試験 | API ~3 | 毎年 | 入学志願者 | 大学での学修に必要な基礎学力 | 入学センター | 入学センターの情報をもとに、入学試験の改善、入学者の現状把握に活用 |
| 7 | GPS-Academic (1 年次) | API ~3 | 毎年 4 月 | 1 年生 | 本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路 | 人間環境 デザイン 工学科 | IR・教育支援センターの情報をもとに、近大ゼミ、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 8 | 二級・木造建築士資格取得調査 | DPI ~4 | 毎年 12 月 | 卒業生 | 二級・木造建築士資格の取得状況 | 人間環境 デザイン 工学科 | 連携する資格学校の情報をもとに、学科のカリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 9 | 新入生アンケート | API ~3 | 毎年 4 月 | 1 年生 | 高校での学習科目、入学した入試区分・受験科目、志望動機、希望進路、興味ある資格等 | 人間環境 デザイン 工学科 | 学科で調査した結果を学科教員で共有し、修学及び学修支援、カリキュラム改善、学生指導に活用 |

以上

令和8年4月1日

生物理工学部 医用工学科 アセスメントプラン

アセスメントの方針

建学の精神並びに教育の目的に沿った教育活動を実施できているかを確認し、教育活動の成果と課題の発見に資することを目的として、学修成果のアセスメントを行う。学修成果に加えて、その過程となる学修意欲や学修行動もアセスメントに含む。これらのアセスメントにより、3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミSSION・ポリシー）の到達状況を把握する。ディプロマ・ポリシーの到達状況は卒業時の学修成果や卒業後の自己並びに社会的評価、カリキュラム・ポリシーの到達状況はカリキュラムの実施状況及び各授業科目における学生の学修成果等をもとにディプロマ・ポリシー到達に向けた進捗、アドミSSION・ポリシーの到達状況は入学者の資質・能力を確認する。

アセスメントは、学生の成果物等に基づき「何ができるか（アウトカム）」を評価する直接評価と、学生の自己評価に基づき「何ができているか（アウトカム）」、「どのように学修しているか（アウトプット）」を評価する間接評価に基づき行う。学生全体だけでなく個々の学生の状況についても、経年的かつ多面的に把握する。

アセスメントの方法

| No. | 名称 | 対象 | 時期・頻度 | 学年 | 主な質問項目、内容等 | 実施責任部署 | 結果の活用方法 |
|-----|----------------------|-------------------|-------|------|-------------------------|--------|---|
| 1 | 卒業論文・卒業研究等ルーブリック | DPI ~4 | 毎年度末等 | 卒業学年 | 卒業論文・卒業研究等の学修成果 | 医用工学科 | 個々の教員が評価を行い、結果を学科で集約し、各学部等の授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 2 | 卒業アンケート（全国学生調査の最終年次） | DPI ~4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 学修経験、学修行動、習得した能力、大学の満足度 | 医用工学科 | IR・教育支援センターの報告を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 3 | 卒業生の進路状況 | DP 1 ~ 4 | 毎年1回 | 卒業学年 | 卒業生の進路（就職率、有力企業就職率、進学率） | 医用工学科 | キャリアセンターの報告を、就職支援の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |

| | | | | | | | |
|----|-----------------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|--|--------|--|
| 4 | 卒業生調査 | DP 1 ~ 4 | 毎年 1 回 | 卒業後 1 年 以上経過の 卒業生 | 現在の就業状況、大学に対する満足度、大学で身についた能力、授業や教育プログラムへの意見・要望 | 医用工学科 | IR・教育支援センターの報告を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 5 | 学修振り返りアンケート | CP | 每学期 1 回 | 全学年 | 学修行動、授業の理解度、満足度 | 医用工学科 | 集計結果を、授業方法やカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 6 | 成績不振学生、休退学の調査 | CP | 每学期 1 回(成績不振)、随時(休退学) | 全学年 | 学業不振の状況(GPA、修得単位数、留年者数)、休学者数、退学者数 | 医用工学科 | 要対応学生に対する面談を実施し、修学及び学修支援、自学部のカリキュラム改善、自己点検・評価に活用 |
| 7 | GPS-Academic (3年次を基本) | CP | 毎年 1 回 | 原則 3 年生 | 学修行動、授業・カリキュラム満足度 | 学生センター | IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者の報告を、授業方法やカリキュラム改善、学修支援や低学年時における学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 8 | 学生生活実態調査 | CP | 隔年 9~10 月頃 | 全学年 | 学生生活、課外活動の経験、学修行動、大学に対する評価 | 学生センター | 学生部の報告を、カリキュラム改善、学修支援や学修環境の充実、自己点検・評価、情報公開 |
| 9 | 入学試験 | API ~3 | 毎年 | 入学志願者 | 大学での学修に必要な基礎学力 | 入学センター | 入学センターの報告を、入学者の現状把握に活用 |
| 10 | GPS-Academic (1年次) | API ~3 | 毎年 4 月 | 1 年生 | 本学への満足度、入学前の学習状況、海外留学の意識、卒業後の進路 | 学生センター | IR・教育支援センターから依頼を受けた委託業者の報告を、入学時点の汎用的能力の把握、今後の学修支援、自己点検・評価、情報公開に活用 |
| 11 | 臨床工学技士国家試験 | DPI ~4 | 毎年 3 月 | 4 年生 | 臨床工学技士免許 | 医用工学科 | 医用工学科が臨床工学技士国家試験結果を情報公開に活用 |

以上